

ふれあいトーク記録書 （ 泉町区 ）

開催日時： 平成30年11月15日（木） 午後7時00分～午後8時50分

場 所： 泉町会館

参加人数： 泉町区民17人 議員9名

次 第： 司会 宮川議員

1. 開会挨拶 黒川議長、泉町区長 狩野様より
2. 出席議員自己紹介
3. 意見交換会

項目	参加者の意見・質問	議会の応答	執行機関の回答
若い世代が暮らしやすいまちとは	岩倉市を活性化するために、子育て支援や高齢者施策はよく聞くが、その間の若い世代に対する支援などはやっているか。	岩倉は昼と夜の人口差が大きい。市内に残るのが高齢者や子どもになる。そんなことから店舗が張り付きにくい背景がある。	【秘書企画課】 若い世代に対する施策としては、「新成人の集い」や「28歳の集い」など特定の年齢を対象とした施策に加え、結婚支援としての婚活事業なども行っています。また、若い世代に特定した支援ではありませんが、音楽、文化、スポーツや図書館などの生涯学習分野においては、そうした年代にあった事業展開もしています。 まちの活性化という点では、こちらも
		28歳の集いという事業をやっている。自分たちのまちをどうするかといった話し合いはしている。若者のリーダーを育成し、イベントを組んでいこうということはやっているがまだ結果は出ていない状況である。皆様からも若い人に声をかけてほしい。	

	<p>七宝町から岩倉に来たが住みにくい。お店がない、食事するところがないなど嫌いなまちだ。</p>		<p>世代や業種に特化したものではありませんが、観光や商業振興関連の事業では、若者をターゲットとした事業展開も図っています。</p>
	<p>若い人を誘致するような、例えば空き家バンクをやっているが、若い人が住みやすいまちを活性化のテーマにしてほしいがどうか。</p>		
	<p>そういった活動はありがたいが、逆にそういったものに入らない人もいる。</p>		
	<p>積極的な人であれば出るのであろうが、そうではない人、若者にとって住みやすいまちとはどういうものだろうか。</p>		
	<p>例えば、クリーニング店が近くにある、食事するところがあるなど、何かあると思うので調べてほしい。</p>		
	<p>具体的にあま市は店舗や食事をするところがあるから暮らしやすいとは思いますが。</p>		
	<p>若者が定着するまちや積極的にまちをとという人ではない人をターゲットに考えてみてはどうか。</p>		

<p>国民健康保険税について</p>	<p>岩倉の市民税が高いのではという話をしていたが、それは全国同じで、国保税が高いということであった。しかしそれも今は、広域化で岩倉は少し安い方になっていることもわかった。県の広域化になったが算定は市町村が行うのか。</p>	<p>国民健康保険は都道府県化で愛知県が一つの塊になった。愛知県が保険者になったということではなく、愛知県と市町村がそれぞれ保険者の機能を持つということになる。県は市にこのぐらいの金額を納めてくださいと提示する。それを基に、市町村では独自に決める権利もある。独自に決めた保険料を集めて出すということになる。窓口は岩倉市になる。お金の管理を県が行うという形。7～8年前までは愛知県で一番高い国保税が岩倉市であった。その後7、8番目ぐらいまでにはなったが、今回の広域化において、国保税が高いところは保険税が下がってくる、低いところは上がってくるといういわゆる標準化が行われていくことになる。大阪府はどの市町村も一律の保険税にしている。岩倉市のようにこれまで高かったところは下がっていく傾向がある。この4月から95%ぐらいの世帯で国保税が下がった。今後はどこも同じような水準になってくると思われる。</p>	<p>【市民窓口課】</p> <p>毎年、県から本市の所得水準や医療水準に応じた、「標準保険料率」が示されるため、市は、この県から示される標準保険料率を踏まえ、被保険者の負担が急激に変化することがないように配慮した税率の設定に努めています。</p>
--------------------	--	--	---

若者、単身者が楽しめるま ちにできないか		働く場がない、大学がない、高校も一 つしかなく若い人が昼間にいない、そう いったところに焦点をあて、利益を考え お店が進出できないと思う。	【商工農政課】 平成 29 年度から岩倉青年会議所や NPO 法人いわくら観光振興会と協働で、 若者が活躍でき、楽しめるイベントとし て「冬の鍋フェス in いわくら」を始め ました。また「いわくら de マルシェ」 やランチスタンプラリーなども、同様の 目的を含んだイベントとして実施して います。
	夜、若者が楽しめるまちにしてもよい のではないか。	議会で若者とのおむすびトークを行 った際、お店がない等の意見が出てい た。	
	一般に単身者が来ていて、住みやすい まちにしてみてもどうかということ。コ インランドリーがあるとか、遊べる所 があるとかそういったことである。	独身の若者からの施策の展開とい うのはあまりない。婚活程度のものかと思 う。岩倉がおもしろいまち、デートがで きるなどなると素晴らしいことにはな ると思う。まずは、若者の声を聞くこと からやらなければならないし、そういっ た声を執行機関にも投げかけておく。	
	土日生活しやすい、夜でも食事すると ころがあるなどが重要ではないか。	岩倉のランチ、夜は女性が多い。混ん でいるお店もいっぱいある。	
	民間の商売の関係だからどうこうす ることもできないだろうが、優遇制度が できないとか、誘致できないものかなど 検討できないものか。		

	<p>岩倉のまち変わってきているのはよくわかるがもう一步踏み込んで真摯に考えてもらいたい。</p>	<p>若者がどういうまちが暮らしやすいのかという意見は聞かなければならないが、観光振興会では、アピタ岩倉店の屋上にてマルシェという比較的若い人が買い物に来るようなことも始めている。また、若者政策ワーキングということで、若者が集まりながらどんなまちにしようかと考えているところは少しずつある。</p>	
	<p>岩倉の駅周辺は良くなったと思う。一人でふらっとのみに行ける店もあるといい。飲み屋ばかりあってもいけないが。</p>		
	<p>スーパーなど单身用のサイズのものも売っているのだろうか。そういったものがあると单身者にはありがたい。食料が一番である。買い物しやすいとなるとよい。</p>	<p>岩倉でも、单身者用のサイズのものも売っている。</p>	
		<p>子育て世代のお母さんたちから暮らしにくいという声を聞く。それは図書館、保育園、石仏スポーツ広場など駐車場が無いことが原因。雨が降ると困る。</p>	
		<p>公共施設全般に駐車場が足りない。少しずつでも整備をしていく必要があると思っている。</p>	
岩倉駅ロータリーについて	<p>岩倉は全体的に車では動きにくいまちではないか。一方通行もある。駅前ロータリーは雨が降ると車がすごく多い。</p>	<p>他からも意見をもらったこともある。</p>	<p>【維持管理課】 ロータリー全体の敷地も狭く、周辺の土地利用もなされており、広場の拡張が</p>

	ロータリーの中央を削って、駐車スペースにしてもらったらよいと思いましたが、検討しませんでした。		できない中、問題の解消にはならないと思っており、大変難しい問題でありますので、今後、どのように計画していくのかについては、限られた財源の中で、事業の優先度や重要性を考えながら引き続き研究させていただきたいと思えます。
	止めやすいロータリーにしてはどうか。	事故も多い。	
		駅前には噴水がある光景は画一的につくられたものか。実際に噴水が必要ないというのであれば、実生活にあわせるのも一つであると思う。	
		送迎しやすい駅前を考えていきたい。	
介護について	岩倉にお店が進出してこない。中川クリニックがあるが、るどりの里は北名古屋市にある。るどりの里は、雑誌の介護施設ランキングでも全国的に高い位置にある。市内でやってくれないものか。市外に出ていってしまうのは産業流出にならないか。介護を一つの産業とみて岩倉市で取組めないものか。	介護の関係で岩倉市が整備しているのは、地域密着型で大きな施設はあまり作られていない。一期一会さんが花むすびをつくったが、全面オープンはしていない。	【長寿介護課】 介護サービス事業所につきましては、特別養護老人ホームや介護老人保健施設をはじめ、住み慣れた地域での生活を支援する目的で設置された地域密着型サービス事業所、介護予防や生活支援サービスを目的とした事業所など、介護を受ける方それぞれの状態に応じた適切なサービスが受けられるよう整備していく必要があると考えます。 また、本市では地域包括ケアシステムの構築を目指しており、高齢者の地域での生活を支援していくために、介護施設
	介護施設に伴う、交通、ケータリングなど他の業種もついてくる。	小規模で地元の人が寄れる介護施設をとすることを考えてやっているのが現状。岩倉団地の中には、今後、24時間訪問できる施設をオープンしようとしている。	

		<p>認知症対応型デイサービスもそこに開設される。ちよつとずつ整備を進めている。特別養護老人ホームの待機者も100人ほどいるのでこれを解消しなければならぬ。介護を一つの産業という視点をもって質問していきたい。</p>	<p>だけでなく、保健・医療・福祉・介護などの公的サービスをはじめ、地域の支え合いボランティア等が行う活動など適切なサービスが途切れなく提供される地域社会を作り上げることが重要であると考えます。</p>
<p>名草線などにぎやかなまちにできないか</p>	<p>名草線においても、北名古屋や江南に行くと明るくなる、お店がある。岩倉のロケーションもよい。坂もない。老人にやさしい。これを活かしたい。</p>	<p>名草線について、4車線化がなかなかできなかった。4車線になるとロードサイド型の店舗がつけられる。川井町にあるはま寿司などがそうである。あそこは調整区域であり、開発ができないが、ロードサイト型はできる。今、総合体育文化センターのあたりを工事しているが、コンビニなど開発が可能になる。開発の余地をどう誘導していくかを考えなければならないが、一番正しいことは、都市計画で用途区域を定めること。市街化区域の中に入れて、商業地域にしてしまうことで建ぺい率や容積率も緩和されて、進出する店舗にとってはメリットが大きい。平屋よりも2階建てのように。ただ残念なことにこれから人口減少が進む中で市街化区域の拡大は望めない。今ある中でどうしていくかが求められ</p>	<p>【都市整備課】</p> <p>名草線（主要地方道名古屋江南線）は2020年度（平成32年度）中の工事完了を目指して整備を行っています。市内における名草線の沿線は市街化区域と市街化調整区域が概ね半々となっており、規制の厳しい市街化調整区域内の区間でも一定の要件を満たせば飲食店などの沿道サービス業の出店が可能となります。</p> <p>なお、店舗等の出店にあたっては出店業者が想定する商圈や建設予定地となる土地所有者の合意形成が大きな要因となりますので、行政側の想いだけで進まないことも事実ですが、これからのライフスタイルに対応した様々な環境整備を誘導するなどにぎわいのあるまちづくりを進めていきたいと考えていま</p>

		る。また、都市計画の弱さがある。やはり地主がいるから行政としても誘導策ができずらい面もある。4車線化に伴って、にぎわいができるよう議会からも働きかけられるようにしていきたい。	す。
	豊明市も発展している。前は岩倉と同じくらいの人口であったと思う。	サーティワン、ミスタードーナツ、モスバーガーがないのは岩倉だけ。スターバックスもない。ないないは岩倉ぐらい。沿線にお店ができることは良い。	<p>【秘書企画課】</p> <p>豊明市は1970年から80年にかけて急激に人口が増加しており、本市と似たような傾向ではありますが、人口比較では常に本市よりも多い状況です。</p> <p>なお、豊明市には、本市にはない藤田医科大学病院、中京競馬場などもあり、昼間人口の比率も高くにぎやかな印象もあると考えます。</p>
	もっとにぎやかで楽しいまちに。議会でこういったことを考えたことはないですか。	地元の喫茶店の人も頑張っている。	
中川クリニックについて	中川クリニックは岩倉が本部か。	そうである。	<p>【長寿介護課】</p> <p>介護サービス事業所の拡充に関しては、介護人材の不足が全国的に問題となっています。本市においても例外ではなく多くの事業所が人材の確保に苦慮しており、新たな施設の拡充を難しくしています。本市の既存の施設についても、</p>
	北名古屋や小牧にあるが、岩倉ももっと拡充してもらえないだろうか。	介護保険制度ができるときいろんな議論したが、市内に大きな介護施設ができると、市民の介護保険料が高くなるという仕組みになる。市民の負担が増えないようにしたい。介護保険料算定の仕組みは細かいものがいろいろあるが、その	

		<p>一つにそれがある。大きい施設をあまり充実させることはどうかという面もある。</p>	<p>他市町からの利用者を受け入れている施設もありますが、介護を必要とする多くの方が、住み慣れた自宅での生活を希望していることから、市民が住み慣れた地域での生活を継続できるよう日常生活圏内で必要なサービスが提供できるように努めています。</p>
<p>よそのまちから入るような施設を作ったらどうかと思う。</p>	<p>タイミングもあると思う。中川クリニックさんが拡張した時は、尾張北部広域医療圏というものがあり、ベッドの数が制限されている。その時北名古屋市は広域から外れていたのだからそんな背景もある。</p>		
<p>施設のランキングなんかも時々みてほしい。いい施設である。</p>	<p>産業面で見ると、そこで発生した収益の75%が岩倉にくる。25%が納税義務である。岩倉に本拠地を持つ医療法人が周りに広げてきたことで土地のない岩倉にも税収が入るといった考え方もできる。</p> <p>今は法律も変わって、緩和されているが、当時はそういった規制があり市外へでたということも考えられる。</p> <p>補足すると、医療に関するベッドの規制は、県が許可しないというところもあるが、介護施設は、市町村が計画に位置付けて手を挙げれば進出することもできるので、医療と介護は違うということを確認して進めていきたい。</p>		

	<p>岩倉の購買力は市内でどれくらいあるのか。市外へどれくらいでているかといった事は話題になるか。</p>	<p>話題になる。そういったデータもある。</p>	<p>【商工農政課】 地域経済分析システム (RESAS) の地域経済循環図 (2013 年) によると、地域経済循環率は 62.6% と、市外への流出が多い結果となっています。また、コンパクトシティであるが故、市境に住む市民の中には、近隣のショッピングセンターへ行く機会も多いといった話も聞いています。</p>
<p>岩倉の商業施設、企業の応援とデマンド交通について</p>	<p>岩倉のアピタは中途半端すぎると思う。昔の規模でよかった。また、駐車場が平面ではなく、立体になったことが要因で行きにくいという高齢の方の意見がある。50 代、60 代の方が中心的な客層だとすると、無駄に大きくしたのかなと思うところもある。</p>	<p>マイナスであると思う。 地域ブランド調査では、製品の購入手は全国で 1000 自治体中 829 位である。 市外の大型ショッピングセンターがあり行ってしまふ。岩倉のアピタではなく、違う市にあるアピタに行ってしまうのではないか。</p>	
	<p>ただ、アピタに出でいかれても困るのではないか。そうであれば、アピタをどう支援していくかを考える必要があるのではないか。アピタにデマンドバスは止められない。民間事業所だからいろいろあると思う。でも実際は、アピタに出でいかれたら困る。場所が良いからとい</p>	<p>アピタ等商業施設へのデマンド交通は一般質問でも取り上げている。</p>	<p>【商工農政課】 NPO 法人いわくら観光振興会と協働で実施している「いわくら de マルシェ」は、これまでアピタの屋上で実施しており、アピタの集客にも繋がっています。また、ふるさといわくら応援寄附金では、市内企業の特徴ある様々な製品を扱</p>

	<p>って次の人が入ってくるかはわからない。駅東のバローさんも厳しいのではないかな。何か応援していくような体制を考えていく必要があるのではないかな。地元の商店も大切であるが、そういった応援体制をとらないと何もないうちになってしまう。泉町にも買い物難民はいると思う。タクシーを呼んでいける方がいいが、いけない方もいる。そうしたら商業施設に留めるべきではないかという論議もしてほしい。石塚硝子、ミヨシ油脂などの企業、扱っている商品も応援していくムードのあるまちを考えていかないと誰も来やしない。先ほどの飲食店の話でも、飲食店が先か人が先かということになるが、どこかでやらないと始まらない。また、愛知県の施設、国の施設を駅前にもってきてもらおう。工業誘致は大変難しいと思う。バローの上にある施設の中を使う。研修施設や教育施設なのか、大学もいいがそういったものを持ってきてはどうか。</p>		<p>うなどしています。</p> <p>【協働推進課】 既存の公共交通機関の活用を前提とし、交通弱者と言われる高齢者及び障害者、妊婦、就学前児童などの方々への社会参加の促進及び生活支援することを目的としてデマンド交通を実施していますが、この事業を実施するためには、タクシー会社などの既存の公共交通事業者との調整は必要不可欠であり、タクシーの撤退は避けなければなりません。利用者から商業施設の乗降場所への追加要望があることは承知していますが、以前、調整等を行い不調に終わった経緯があります。そのため、既存の公共交通との競合を避けるため、乗降場所の商業施設の追加は困難だと考えています。</p> <p>【企業立地推進室】 川井・野寄地区での企業誘致事業につ</p>
--	---	--	--

			いては、平成 31 年度での事業の正式決定に向けて関係機関と協議を進めています。
	デマンド交通は委託ではなく、岩倉市でできないものか。委託金がでるので無理して運行しないのでは。行政がやれば方策も考えて行うのではないか。人材確保など大変かもしれないが、そのあたりも検討の要素である。		<p>【協働推進課】</p> <p>公共交通に関する調査検討業務を今年度を実施しており、7月には公共交通実態調査や交通事業者ヒアリング、10月には小学校区ごとでの行政区意見交換会を行い、これらの結果等について岩倉市地域公共交通会議に報告し意見等をいただいている状況です。今後の公共交通のあり方等につきましては、市民の方からいただいたご意見と様々な調査検討結果等を踏まえつつ、他の自治体の取組も参考としながら、本市にとって最適な事業となるよう総合的に検討したいと考えています。</p>
	スーパーヤマトがなくなった。雨漏りもあるようだが、冷凍庫の設備更新が要因であったようだが、そういった要因がわかれば、サポートできないものか。手を差し伸べることもしないとお店がやめていってしまう。		<p>【商工農政課】</p> <p>商工会を通して、融資制度や全国商工会連合会の補助制度により支援しています。</p>
生涯学習センターについて	生涯学習センターは利用しているが、	余裕はあるが取りたいときに取れな	【生涯学習課】

	<p>人気のある講座もある。人を集めるのによい。そういった人気のある講座をやってほしい。人を集めて、勉強させて、買い物もしてもらってという場所としてよい。部屋にまだ余裕があると思う。</p>	<p>いのが現状。土日はほとんど取れない。あそこにいると絵とか写真もあり岩倉を感じない。</p>	<p>生涯学習講座については、指定管理者の企画運営のもと、多くの皆さんに好評を得て実施しているところです。今後も多様化・複雑化する市民ニーズに対応した企画運営に努めていきたいと考えています。</p> <p>また、施設利用については、生涯学習講座を優先とし、次に社会教育活動を推進する観点から社会教育関係団体や生涯学習サークルの登録団体の活動を優先して利用できる取扱いとしています。すべての皆さんにご希望どおりご利用いただけることが望ましいですが、一方で予約が取れない状況もある現状は把握しています。これまでも利用者で構成される利用者会議やアンケートなどを通して施設利用の改善に努めてきましたが、今後も引き続き、利用者の意見を広く伺いながら利用しやすい施設運営に努めていきたいと考えています。</p>
	<p>予約するのに、先着だが、朝9時に行っても取れない状況。</p>	<p>社会教育を充実する場としても考えていかなければならない。</p>	
	<p>県外からも利用者が来る。消費として自動販売機だけ。ママ友などできてもランチする場所がないのが寂しい。</p>		
循環バス導入の可能性は	<p>市内循環バスを運行することは相当な費用がかかるのでしょうか。</p>	<p>デマンド交通とほとんど変わらないのでは。</p>	<p>【協働推進課】</p> <p>本市にとって最適な事業となるよう総合的に検討したいと考えています。</p>
	<p>先日の懇談会では、7500万円かかると聞いた。なかなか導入は難しいと思っ</p>	<p>7500万円の計算方式はふれ愛まつりでの3コースに基づいて算出している。</p>	

	た。	1時間に1本ではない、何往復もしているもの。	
		岩倉駅から小牧市の管内までの民間バス運行は、小牧市が2000万円負担している。そんなことから2000万円×2台の+アルファとなる金額になるのではないか。	
	循環バスはみんなで要望していたが、3コースで1時間に1本しか来なくて、その上費用を考えると難しい、実用的ではないと感じた。	7500万円という金額はあり得ない。根拠を聞いてみたい。	
	北名古屋、春日井、小牧ではどのくらいかかっているかも知りたい。		
	その説明も懇談会であったところ。それを聞いても導入は難しいと感じた。		
財政を考えた議員の活動姿勢	財政について、四日市大学の岩崎先生の話聞いた。人口が増えて、税収も増えるから、お金が使える時代があり、すぐやる課をつくって市民のやることを市がやってきた。	なかなか言いにくいものであるが、例えば、防犯灯設置の依頼の際に、状況にもよるがご自身の家の門灯でも明かりがとれるのでなんとかなりませんかといった事を話しながら進めることはある。要望なのでないがしろにはできないがそんな対応はあるところ。	
	今人口減少である。協働推進課をつくってやっているが、人口減少でサービス		

	<p>を市がやりすぎるとお金がかかるばかりで税金が高くなってしまふ。なるべく抑えてほしい。市の税収を減らさないような対策など、議会では話し合っているか。税収を見て、市民から要望があってもそれは出来ないということは言えているか。議員自身のことを考えてしまうと難しいのかもしれないが、大きな視点で考えて、市民の皆さんでやってくださいとかできませんとか税収がそこまでありませんなどきちっと言える体制になっているか。</p>		
	<p>やりすぎるとお金がかかりすぎるので自分達の首をしめることになる。そのあたり考えて、議員の皆さんが一致団結してやっていただきたい。断るべきことはちゃんと断る。協働推進課がやっていることは応援してあげるとかやってほしい。草取りでも自分たちでやっているが、よその町内が市にやらせたら、我々の税金を持っていかれていることになる。平等にやってもらうべきことを議論してはどうか。</p>	<p>例えはちがうが、先日の議会報告会で敬老の祝い金についてお金をもらっているが、それを子育ての方に使ってはどうかというようなお金の使い方の意見がでた。また、9月の決算審査において、監査委員の意見書からも、今後も事業が必要かどうかということをきちんと整理して見直しをしないと必要な時に資金が出てこないというかなりきつい意見書もあった。残念ながら議会の中でもきちっとした事業の評価はできていない弱さがある。予算通り効果があったも</p>	

		<p>のになったのか、予算は政策の事前評価、決算は事後評価で効果を評価するのが決算である。そのところに我々はもっと力を注いで、やっぱりこの事業は縮小した方がよいのでは、場合によっては廃止した方がよいのではといった事を議会の中で話し合って市長に伝えるということが必要である。今、決算審査の前に政策評価をやるということは話している。</p>	
	<p>財政が一番大事なこと。議員のみなさんが仲たがいするとできなくなるので、皆さん一緒に全員で同じ方向を向いてやってもらいたい。市の財政を管理することが一番の仕事だと思う。夕張市にならないように。</p>	<p>財政計画をつくらないといけない。何でもできるわけではないので、5年後、10年後を見据えた財政計画をつくって事業を進めることが大切。</p>	
		<p>議員が言っても、区長の要望書がないと市の職員は聞かない。ちょっとした穴があいているといったことは言うこともあるが。要望書の中でも都市整備課はきちっと優先順位を決めている。職員が判断し優先順位を決めているようになっている。</p>	
	<p>議員の仕事は、一般市民の意見を聞く</p>		

	<p>のも当然であるが、基本的には市政をチェックするのが役割なので、そこだけは間違えないようにやってほしい。人気とりなんか必要ない。我々の税金であなた方を雇っているわけで、管理するのが議員である。全国の地方議員が情けないことになっている。地方議員の仕事の役割が書いてある、百田さんが書いた「大放言」という本がある。これが正しいかどうかはわからないがいいことが書いてあると思うのでぜひ読んでみてもらいたい。</p>		
	<p>そのようなランキングを頂いているのであれば、自分で身を切る改革をやってほしい。名古屋市長の河村さんがやっている。ただ、議員の方が自分可愛さで元に戻ってしまったが。ああいうのを岩倉市が先頭を切ってやってくれたら目立つ。市民のためになることであればぜひやってもらいたい。</p>	<p>議会改革度ランキングがあり、約 1700 団体中 18 位である。愛知県では 1 位。</p>	
<p>議会改革度ランキングでどう変わった？</p>	<p>改革度ランキングのことで、岩倉は改革で何がどう変わったのか。</p>	<p>議員同士の足の引っ張り合いはなくなった。議会の中で話し合える空気ができてきた。</p>	
		<p>ランキングを決めるには、かなり項目</p>	

	<p>の調査表が送られてくる。大きくわけると情報公開、議会と住民との関わりで住民参加、議会機能の強化といったものになるが、これらがみんなリンクされてくる。</p>	
	<p>住民参加は全国で4位と高く評価されている。昨年は、若者とおむすびトークを、外国人ママとおだんごトークというものをやったが、こういったものが全国的には進んでいるとされた。</p>	
	<p>他市町から視察にもきて、最終的には30団体位になりそう。</p>	
	<p>市民の方の役に立てるかどうかが真価を問われている。行政区の皆さんともこうしてお話をさせていただく、市民の声を聞いていくというのが原点。こうした意識を全員がもてるようになったというのが大きな変化である。</p>	
	<p>来週も文化協会との意見交換会がある。2日に1回は何かしら入る。見えにくい間違いなく仕事はしている。</p>	
	<p>議会改革によって合意形成ができるようになった。そのための議員間討議も委員会で行っている。そういったことか</p>	

		ら議員の意識も変わってきている。	
海外視察と政務活動費	外国への視察旅行は今はやってないか。	今はやっていない。20年以上やっていない。執行機関側も最近なくなった。万博の時、キューバと岩倉ということで何人かは実費で行っている。	
	逆にそういうことは明快に言われたらよいのではないか。声高に言って貰えばいい。	政務活動費は岩倉市では年間18万円。名古屋市は600万円ぐらい。東京の区議会議員240万円。一宮市60万円。岩倉の場合は、東京の研修に行つて宿泊を伴うと4万ぐらいは行くので、そんなに数多くの研修は行えない。	
	いろんな財政を管理してください。本当にためになるなら100万でも使っているのではないか。額が少ないからいいというわけではない。使うべきものには使うという考え方でやってもらいたい。	ホームページには政務活動費の使途を公開している。	
議員個人と議会組織としての活動について	朝日新聞が地方議会を取り上げた記事があるが、議員はわりと個人で行政と対応される。個人対行政の関係が強い。テーマごとに、委員会ごとに議員の意見をまとめた方がよいと思うがどうか。農業であれば耕作放棄地の問題に取り組むなど、議員同士の横の活動をまとめるといったことはやっているのか。	委員会として意見をまとめて委員会代表質問ができるよう今まとめているところ。議長からの諮問で政策提言をということで各常任委員会が提言をつくるような取り組みをしている。健幸都市宣言の提言もしている。	

	<p>議会だよりを見ると、議員個人が勉強したものが質問されている（一般質問）。専門家が何人かいて委員会をつくっているの、議論を通じて積極的に力強い提言を当局へ出してほしい。</p>	<p>議会だよりには、委員会の政策提言のことはあまり書いていないので、伝わるようにしていきたい。</p>	
避難所は大丈夫か	<p>岩倉市が指定している避難所がある。ここもそうだし、北小学校もある。メンテナンスや耐震などは大丈夫か。</p>	<p>北小学校の体育館は耐震的には大丈夫であるが、照明器具が落ちる、サッシのガラスが壊れるなど非構造部材が壊れる恐れがあるので避難所としては使えないと指摘している。</p>	<p>【学校教育課】 避難所を含め市内公共施設の耐震補強工事は完了しています。市内小中学校の屋内運動場につきましては、落下等の被害が心配される非構造部材のうち、天井やバスケットゴールについては点検・確認しており、照明器具については落下防止の対策を実施しています。</p>
		<p>北小学校の体育館は平成 34 年に建替える計画になっているが、その間どうなるのかという問題はある。南小学校もスチールサッシであった。避難所としての機能をどう考えているかは指摘したい。お金の問題もあって一度には対応ができないのも現実。</p>	
	<p>窓ガラスにフィルムを貼るとするのは、即刻やってほしい。</p>	<p>見積もりを取ると100万円ぐらいかかる。</p>	<p>【学校教育課】 現在、既存のガラスに飛散防止フィルムを貼り付ける方法やより強靱な合わせガラスへの取替にについて費用比較等を行っているところです。財源確保についても研究を進めながら、計画的な導入について取組んでいきたいと考えて</p>
<p>そういったところはお金をかけてもよいのではないか。やれることはやっておかないといけない。</p>	<p>台風で、小学校の窓ガラスが割れた。</p>		

			います。
	<p>子どもが北小学校に行っているが、そんな体育館に避難すると思うと親としては心配である。電柱も多い。避難するのが逆にこわい。自身の家は耐震で建てたが、この辺りはお年寄りも多く、そのあたりのことは考えているか。</p>	<p>家全体の耐震というのはお金がかかるので、一部屋を守るという形のシェルターで 30 万円ほどでおさまるような技術を持っている会社があり、補助金を出して進めるようにしている。耐震診断に基づいた補助を上乗せしていく制度もあるのでお知らせしていきたい。無理のない範囲で命を守る方法はある。</p>	<p>【都市整備課】 本市では昭和 56 年 5 月 31 日以前の旧耐震基準により建築された木造・非木造建物について無料耐震診断を行うと共に、耐震基準を満たさない建築物に対する耐震改修費、耐震シェルター設置費などに対する各種補助金を交付しています。</p> <p>また、毎年、地区を決めて無料耐震診断を受けていただく為の戸別訪問の実施、さらに本年度から市の防災訓練の会場内に比較的安価で設置が可能な耐震シェルターの実物を製造会社の協力を得て展示するなど耐震改修を推進する取り組みを行っていますが、引き続き啓発に努めます。</p>
<p>防災無線、災害情報の収集について</p>	<p>防災行政無線があるが、家の中で聞いていると何を言っているのか全く聞こえなかった。流す情報は防災のことが主でよいか。台風の時、アナウンスがあったがわからないので逆に不安になる。5 時の音楽は便利にさせてもらっている。会館の中にあるものや区長のとき使わ</p>	<p>防災行政無線が聞こえないという意見は各行政区で寄せられている状況。ボリュームをマックスにしたら音が割れる、家の密閉度が高くなってなかなか伝わらないということもあり、行政側も苦慮している。この問題は議会でも取り上げているが、多様な手段を使って情報を</p>	<p>【危機管理課】 議会の回答のとおりです。</p>

	<p>せてもらったものは良く聞こえる。</p>	<p>得てほしいという当局の見解である。</p>	
	<p>今のご時世スマホを利用し、HP等で確認するのがよいのか。アクセスしなければならないが。</p>	<p>ほっと情報メールに登録をしておけば、プッシュ通信で自動的に届けられるが、タイムリーではない場合もある。スマホではなくても携帯電話でもできる。広報に書いてある。</p>	<p>【危機管理課】 議会の回答のとおりです。</p>
	<p>エリアメールが小牧市と北名古屋市から入ってきたという経験が2回あるが、岩倉市はない。こちらからアクセスすれば情報はとれるのか。</p>	<p>エリアメールは強制的に入ってくるものである。</p>	
	<p>防災行政無線を聞くために、機械は貸出しているか 費用の面で難しいのか。</p>	<p>今のところ、会館や区長さんのみとなっている。それ以外は貸し出す予定はない。</p>	<p>【危機管理課】 個別受信機1基あたり約5万程度の費用がかかります。また、設置場所によっては別途屋外アンテナの設置が必要となり、追加費用がかかります。現在本市で保有している受信機は全て貸与しているため、在庫はありません。</p>
	<p>情報を流すことは法律か何かで決められているか。</p>	<p>決められている。岩倉市が自主的に決めている。</p>	<p>【危機管理課】 同報系防災行政無線は、防災情報を流す目的で東海総合通信局から使用が認められています。岩倉市防災行政用同報系無線局運用要綱第3条の中で、流す情報について決めており、防災情報のほか不審者情報など、人命に関わる緊急を要</p>

			する事項についても放送を行います。
岩倉の治安と防犯カメラ	警察との会議があつて、岩倉は治安が悪いとも聞いているがどうか。岩倉には幹部交番1軒しかないから出勤率が高いという意味である。栄、名古屋について岩倉となり3番目、交番勤務地としてあまり行きたくないところである。	空き巣は尾張全体が悪いようだ。岩倉は安全安心カメラができて少ないようだ。	【危機管理課】 防犯カメラについては、防犯設備整備費等補助金を設けており、区が安全安心カメラに該当するカメラを設置する場合に補助を行います。 また、平成31年度には、市が設置する安全安心カメラについて、地域のご意見を伺いながら設置箇所を検討することを考えています。
	泉町区内にもカメラをつけられないか。	区長さんからの申請で補助もある。	
	泉町区でも、泉町の中を散歩してくれとって区民に頼んだ経緯もある。	各町内で夜回りを始めてから1か月で半減した。市民の皆様の努力で効果があるのでお願いしたい。	